

近現代史(12)「19世紀ドイツの統一 ～プロイセンとオーストリア～」

0. ドイツ史の理解の為に

当初ドイツという国はなく地域名であった。962年より[①]なるものが存在したが、皇帝たちはイタリア遠征を繰り返し、国内は分裂傾向にあった。1848年、ドイツ三十年戦争の講和条約である[②]では、ドイツは300以上の領邦に解体され、各諸邦に主権が与えられた。ドイツという地域には統一された国家は存在しなかったのである。

1. はじめにナポレオンありき

【オーストリア】

- 1805年：アウステルリッツの三帝会戦 ナポレオンに敗北
- ⇒ 1806年：[③]成立…西南ドイツ諸邦により結成
 - ▶ これにより神聖ローマ帝国消滅

【プロイセン】

- 1806年：[④]に敗北
- ⇒1807年：[⑤]…普領ポーランドに[⑥]が成立
- プロイセン改革の始まり
 - ・指導者：[⑦]と[⑧]
 - ・内容：ユンカーの力を温存しつつ、農奴制の廃止、行政機構改革、都市の自治、営業の自由化、教育改革、軍制改革など、上からの近代化を実施
 - ・ナショナリズムの昂揚…ベルリンで哲学者[⑨]が「ドイツ国民に告ぐ」の連続公演

2. ウィーン体制下の動向

【ドイツ連邦】

○ウィーン議定書

- ・正統主義がとられたが、神聖ローマ帝国は復活せず。
- ・[⑩]が成立…35の君主国と4自由市で構成された国家連合。[⑪]が議長国でフランクフルトに連邦議会を設置。
- ・自由主義運動…学生組合[⑫]がドイツの自由と統一を求める
- ⇒1819年：メッテルニヒが[⑬]の決議で弾圧

○七月革命の影響

- ・ザクセン州、ヘッセン州などで暴動が起こるも鎮圧される。
- ・[⑭]
 - ▶1834年、オーストリアを排除し、プロイセンの主導で発足。政治的統一に先行して経済的統一をほぼ達成する。
 - ▶発足には外国に対する保護関税を唱えた経済学者[⑮]が貢献

○産業革命

- ・1835年の鉄道開通を契機に1840年代に各地で工業化が本格的に始まる。

3. 1848年革命

【オーストリア】

○[16]三月革命

- ・暴動によりウィーン体制の中心的人物であった[17]が失脚し、イギリスに亡命。
- ・宮廷は困惑し、自由主義的改革を約束するも反動化して、民族運動を鎮圧。多民族国家解体の危険性を阻止するように努める。
 - ・ハンガリー：ブダペストで[18]が反乱。ハプスブルク家からの離脱を図るが失敗。
 - ・ベーメン(ボヘミア)：プラハで[19]が指導してスラヴ民族会議が開催 ⇒ 失敗

【プロイセン】

○[17]三月革命

- ・暴動に対してプロイセン王は譲歩し、自由主義内閣が成立 ⇒ 失敗

○[18]

- ・ドイツ統一と憲法制定を話し合うために、フランクフルトに召集されたドイツ最初の議会。
- ・統一方式をめぐる対立する。
 - ・[19]…オーストリア領内のドイツ人地域を含めてドイツの統一を進めようとする考え。多民族国家であるオーストリアが解体される恐れがある。
 - ・[20]…プロイセンを中心に、オーストリアを除いて、ドイツの統一を進めようとする考え。ドイツ民族統一による国民国家の形成。
- ・49年3月ドイツ国憲法の制定、小ドイツ主義採択
⇒ プロイセン王[21]にドイツ皇帝に即位することを要請するが、拒否される。49年6月、武力弾圧により解散。

4. プロイセンによるドイツの統一

【ヴィルヘルム1世とビスマルク】

○1861年[22]がプロイセン王に即位。翌年[23]が首相となる。

- ・「[24]」:話し合いや民主主義ではドイツの統一はできず、武力によるドイツ統一を目指す。
 - ・軍需産業の育成 ⇒ [25]の大砲 「死の商人」として有名
 - ・近代ドイツ軍の創設 ⇒ [26]:参謀将校を育成して参謀本部制を創設。

【27】1864

○[28]・[29]両州をめぐるプロイセン・オーストリアVSデンマー

クの戦争。戦後、ビスマルクは両州の管理問題からオーストリアを挑発し、普墺戦争の口実とした。

【30】1866

- ドイツ統一をめぐる小ドイツ主義と大ドイツ主義の対立を背景に、シュレスヴィヒ・ホルシュタインの帰属問題を契機に、プロイセンの徴発で開戦。7週間でプロイセンが勝利した。
 - ・ドイツ連邦が解体され、プロイセン国王を盟主として[31]が成立。
 - ・オーストリアは敗戦によるナショナリズム運動対策のために、ハンガリーに特権を与えて妥協(アウスグライヒ)し、体制内に組み込んで[32]を形成した。

【33】1870~1871

- ドイツ統一を目指すビスマルクのプロイセンとこれを阻もうとするナポレオン3世のフランスとの戦争。スペイン王位継承問題を契機に[34]で開戦。セダン要塞でナポレオン3世は捕虜となり、フランス第二帝政は崩壊。**1871年1月、ヴェルサイユ宮殿でドイツ帝国皇帝の戴冠式を挙**